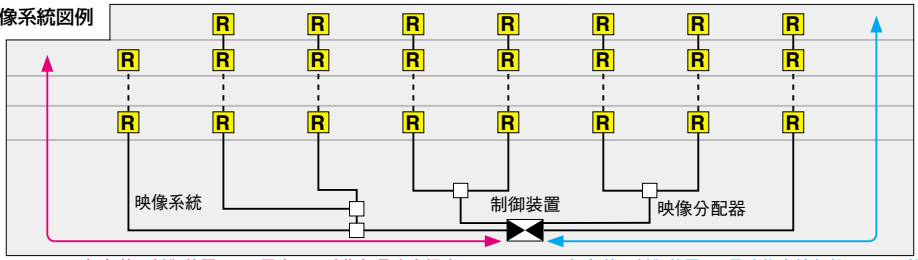
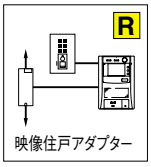
映像系統のご設計にあたって　モニター付システム

●下記条件に合うように映像分配器を設置し、映像系統を決めてください。

※映像分配器を使用しない場合も条件1と2に合うようにしてください。

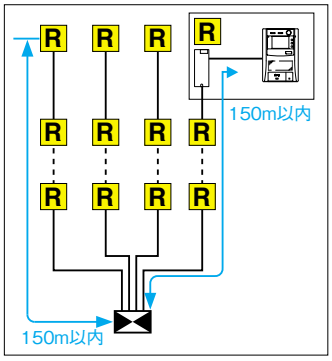
システム映像系統図例





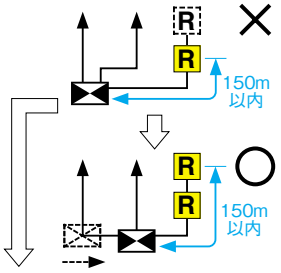
40.0dB以内:条件2.制御装置からの居室への映像信号出力損失　150m以内:条件1.制御装置から最遠住宅情報盤までの距離

条件1 最遠住宅情報盤距離は150mまで

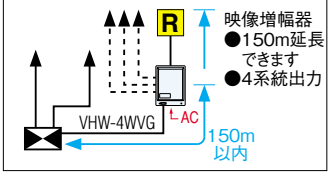


150mを超える場合

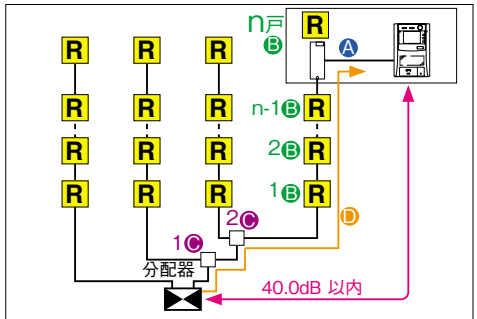
①制御装置の設置位置をかえる



②映像増幅器を設置する



条件2 映像信号出力損失は40.0dB以内です



出力損失の計算の仕方

Ⓐ 居室損失	16.0dB
Ⓑ 映像住戸アダプター損失（n戸…系統接続戸数）	0.5dB ×n戸
Ⓒ 分配器損失	4.5dB×n台
Ⓓ 線路損失	0.15dB×○m

40.0dB≧合計 ＿＿＿＿ dB

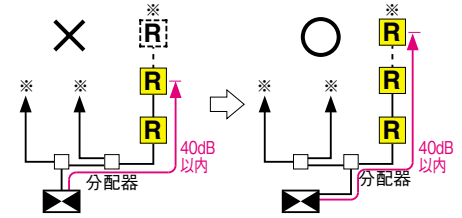
Ⓐ 居室損失 16.0 ＋ Ⓑ 映像住戸アダプター損失 0.5dB ×○戸 ＋ Ⓒ 分配器損失 4.5 ×○台 ＋ Ⓓ 線路損失 0.15 ×○m

系統あたり14住戸・分配器1個・距離70mの場合

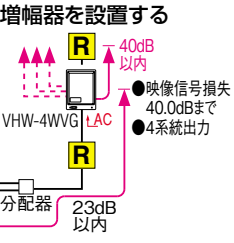
16.0 ＋ 0.5 × 14戸 ＋ 4.5 ×1台 ＋ 0.15×70m ＝38＜40dB

40.0dBを超える場合

①分配のしかたを工夫する



②映像増幅器を設置する



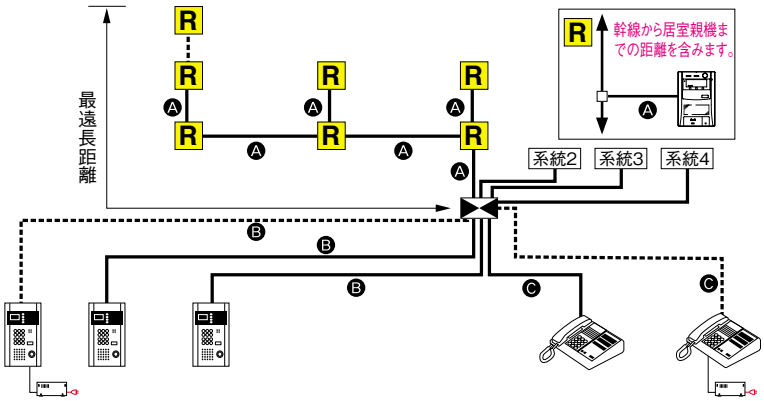
※各分岐系統の損失を確認してください。⇨40dBを超える場合

※VHW-4WVGは損失23.0dB以内の所に設置してください。

ご注意

- ●最遠住宅情報盤距離が150m以内でも、分配器と映像住戸アダプターの出力損失により、映像信号出力損失が40.0dB以上になる場合があります。
- ●ケーブルの損失は15dB/100m(0.15dB/m)ですが、途中でジョイントした場合はジョイント1ヵ所あたり約1dBの損失が加わりますのでご注意ください。
- ●映像分配器はシステムで合計4台以下としてください。
  なお、映像増幅器を使用しても台数は増やせません。
- ●映像増幅器はシステムで直列に3台、合計5台以下としてください。

幹線系統のご設計にあたって　通話システム



通達距離

	範　　囲	通達距離
居室幹線	総配線距離 Ⓐ 合計	システムで 2,500m
	最遠長距離	1,000m
集合玄関機	総配線距離 Ⓑ 合計	1,000m
	最遠長距離	50m 個別電源供給 300m
管理室親機	総配線距離 Ⓒ 合計	1,000m
	最遠長距離	50m 個別電源供給 300m